

	主な薬効分類	薬品名 (商品名)	胃潰瘍もしくは 十二指腸潰瘍(に伴う出血)に 用いられる用法用量 (成人 内服)	剤形 (適応のある剤形のみ掲載)	禁忌	腎機能による調節
攻撃因子抑制薬	PPI (プロトンポンプ阻害薬)	エソメプラゾール (ネキシウム)	20mg/日 1日1回	内服(カプセル・顆粒・懸濁用顆粒)	本剤の成分に過敏症のある患者 アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩投与中の患者	不要
		ランソプラゾール (タケロン)	30mg/日 1日1回	内服(錠剤・口腔内崩壊錠) 注射	本剤の成分に過敏症のある患者 アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩投与中の患者	不要
		オメプラゾール (オメプラール)	20mg/日 1日1回	内服(錠剤) 注射	本剤の成分に過敏症のある患者 アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩投与中の患者	不要
		ラベプラゾール (パリエット)	10mg/日 1日1回 (20mg/日 1日1回へ増量可能)	内服(錠剤)	本剤の成分に過敏症のある患者 アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩投与中の患者	不要
	P-CAB (カリウムイオン競合型酸ブロック)	ボノプラザン (タケキャブ)	20mg/日 1日1回	内服(錠剤・口腔内崩壊錠)	本剤の成分に過敏症のある患者 アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩投与中の患者	不要 (ただし、腎機能低下者ではAUC * ³ 増加)
	H2ブロッカー	ファモチジン (ガスター)	40mg/日 1日2回 (40mg/日 1日1回 就寝前)	内服(錠剤・口腔内崩壊錠・散剤) 注射	本剤の成分に過敏症のある患者	透析患者：10mg/日 1日1回(20mg/回 透析後1回) 30≥Ccr：1回20mg2~3日に1回、10mg/回 1日1回 60>Ccr>30：20mg/日 1日2回もしくは1日1回
		シメチジン (タガメット)	800mg/日 1日2回もしくは1日4回、1日1回	内服(錠剤・細粒) 注射	本剤の成分に過敏症のある患者	Ccr 0~4 mL/min：200mg/日 1日1回 Ccr 5~29mL/min：400mg/日 1日2回 Ccr 30~49mL/min：600mg/日 1日3回
		ニザチジン (アシノン)	300mg/日 1日2回 朝食後就寝前 (1日1回 就寝前)	内服(錠剤・カプセル)	なし	透析患者：75mg/日 1日1回または1回150mg 週3回 10>Ccr：75mg/日 1日1回 Ccr 10~49mL/min：150mg/日 1日1回または2回 不要
		ラフチジン (プロテカジン)	20mg/日 1日2回 朝食後、夕食後または就寝前	内服(錠剤・口腔内崩壊錠)	本剤の成分に過敏症のある患者	(透析患者には低用量から慎重に投与する 1回5mg 1日1~2回)
	制酸薬	炭酸水素ナトリウム	3~5g/日 1日数回	内服(散剤)	Na摂取制限を必要とする患者 ヘキサミン投与中患者	腎機能低下者には慎重投与 (Na貯留のリスク)
		沈降炭酸カルシウム	1~3g/日 1日3~4回	内服(散剤)	甲状腺機能低下症または 甲状腺機能亢進症の患者	腎機能低下者には慎重投与 (Ca,P代謝異常のリスク)
		水酸化アルミニウムゲル	1~3g/日 1日数回	内服(散剤)	透析療法を受けている患者	腎機能低下者には慎重投与 (Al蓄積のリスク)
		酸化マグネシウム (マグミット)	0.5~1g/日 1日数回 (制酸剤として使用する場合)	内服(錠剤・散剤)	なし	腎機能低下者には慎重投与 (高Mg血症のリスク)
防御因子増強薬	プロスタグランジン類	ミソプロストール (サイトテック * ¹)	800μg/日 1日4回	内服(錠剤)	妊婦または妊娠している可能性のある患者 本剤の成分に過敏症のある患者	不要 (末期腎不全患者では排泄遅延の報告あり)
	プロスタグランジン誘導製剤	デブレノン (セルベックス)	150mg/日 1日3回	内服(カプセル・細粒)	なし	不要
		レバミピド (ムコスタ)	300mg/日 1日3回 朝夕食後就寝前	内服(錠剤・口腔内崩壊錠・顆粒)	本剤の成分に過敏症のある患者	不要 (腎機能障害患者では血中濃度上昇、消失半減期延長あり)
		トロキシピド (アブレース * ²)	300mg/日 1日3回 食後	内服(錠剤・細粒)	なし	不要 (尿中未変化体排泄率が高いので有害事象には注意)
	抗ペプシン薬	ボラプレジック (プロマック)	150mg/日 1日2回 朝食後就寝前	内服(口腔内崩壊錠・顆粒)	なし	不要
スクラルファート (アルサルミン)		3.0~3.6g/日 1日3回	内服(細粒・内用液)	透析療法を受けている患者	腎機能低下者には慎重投与 (Al蓄積のリスク)	

薬品名(商品名)欄がこの色になっている薬剤は院内採用品です

※沈降炭酸カルシウムは胃潰瘍に適応のある剤形の院内採用がありません

*¹ ミソプロストールの適応は非ステロイド性消炎鎮痛剤の長期投与時にみられる胃潰瘍及び十二指腸潰瘍です

*² 先発品であるアブレース錠は2025年3月31日をもって経過措置満了となります

*³ 血中濃度時間曲線下面積の略、大きいほど薬物がより多く体内へ作用したとイメージしてください